

日本画継環展
Japanese Painting Continuity Exhibition

作品募集
Call for Entries

伝統画材を今、そして未来の作家へ

募集受付開始 11月11日 ▶ 締切 2027年1月11日

本公募展『日本画継承展』は、伝統的な「日本画」と「日本画材」の継承を目指した経済的な「循環」を促進、啓蒙するための新たな仕組みとして誕生いたしました。「継環」は、精神的・技術的な「継承」と、物質的・環境的な「循環」を統合したコンセプトです。単に古いものを守るのではなく、現代的な課題意識を持って文化を未来へ繋いでいこうとする積極的な姿勢を示しています。年齢・画歴・所属・国籍を問わず、未来の日本画文化を共に創り上げるための第一歩として、プロ・アマ問わず、日本画の魅力発信の一助としてご参加頂けましたら幸いです。

開催スケジュール

2026年 11月11日(水) — 募集受付開始
公式サイトのリンクから
Googleフォームにて申込ください。
※一次審査は写真にて行います。

2027年 1月11日(月) — 応募締め切り

2027年 2月2日(月) — 一次審査　入選者発表
審査結果はホームページにて発表し
入選者には通知いたします。

2027年 3月上旬 — 二次審査の作品搬入
入選者は都内会場へ
作品搬入ください。

2027年 3月上旬ごろ — 東京展
公開二次審査・各賞発表
2027年3月上旬ごろに
入選者の作品を展示いたします。
3月7日（日）に各賞の発表と
授賞式を開催いたします。

2027年 4月中旬ごろ — 福岡・六本松展
福岡・野の間と近郊のギャラリー
にて展示いたします。

【応募内容】

- ▶ 年齢・画歴・所属・国籍不問
  ※日本国内で郵便物の受取が可能な方
- ▶ 日本の伝統画材を使用した
  SM(227×158mm)〜F8号（455×380mm）の平面絵画作品
  ※額装なし・パネル展示可能な状態
  ※既に発表済みの作品も応募可能
- ▶ 出品料　1エントリー4,000円（税込）
- ▶ 1エントリー2点まで、
  1名につき最大3エントリー（計6点）まで応募可能

【賞】

入賞　40〜50名程度

日本画文化の裾野を広げるという開催趣旨の元、「日本画継環展」ではグランプリを設けておりません。

特別部門賞　各1名

- 小中高・日本画賞
- 学生日本画賞
- 和敬賞
- 令和日本画賞
- 不動日本画賞
- 新人賞
- 伝統画材画賞
- 写生画賞
- 眼福画賞

※各賞詳細はホームページで

【審査員】

立島　惠	佐藤美術館 学芸部長 武蔵野学芸美術教育研究所 所長
荒井　経	東京芸術大学大学院 文化財保存学専攻 保存修復日本画 教授
渡辺 麗斗	ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役パートナー

【応募特典・受賞特典】

- 応募者全員の作品が公式WEBへ掲載
- 応募者全員に審査員または事務局より作品講評が提供されます
- 入賞者は東京・福岡での公募展で作品展示
- 入賞者は銀座・ギャラリー枝香庵でのグループ展に推薦
- 入賞者は希望があればギャラリー・画商とのマッチングをお手伝いいたします
- 特別部門賞ごとに副賞を授与
  (日本の伝統的な画材を予定)

本公募展への応募を通じて得られる収益は、次世代への教育普及活動や日本画文化の啓蒙活動に活用されます。

日本画継環展
Japanese Painting Continuity Exhibition

公募展に関するお問い合わせは
公式サイトのメールフォームから
日本画継環展事務局　092-741-4505

応募規約のご確認＆
エントリーはこちら
https://keikanten.com